

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

ニフレルに「オーストラリアガマグチヨタカ」が仲間入り まるで七変化。見るたびに異なる様々な姿と表情から目が離せません



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2024年7月22日(月)より「オーストラリアガマグチヨタカ」(2羽)が、2階「うごきにふれる」ゾーンに仲間入りしました。

オーストラリアガマグチヨタカは、オーストラリア全域に生息し、日中は体を細くして木に擬態し、暗くなってから活動する夜行性の生きものです。フクロウに似ていますが、ヨタカ目に属する全く異なる生きものです。名前の通り“ガマグチ”のような大きな口と、樹皮そっくりな羽の模様、そして体を伸ばして枝になりきる「擬態」が特徴的です。



擬態するオーストラリアガマグチヨタカ

ニフレルではオーストラリアガマグチヨタカの展示に向け、7月22日(月)より「うごきにふれる」ゾーンで様子を見ながら飼育してきました。今ではすっかり環境に慣れ、柱の上で2羽並んで眠ったり、ゆっくりと首を回して周囲を見渡したり、ときには木の枝に擬態したりと体の形をさまざまに変化させています。目力のある黄色い目や、他の生きものの鳴き声やうごきに反応して「グワグワ」と鳴く声など、存在感のある姿から目が離せません。

【本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《展示場所》館内 2 階「うごきにふれる」

《展示個体》あずき(0 歳 オス)、おしるこ(1 歳 オス) ※いずれも神戸どうぶつ王国生まれ

《大 き さ》体重:約 400g

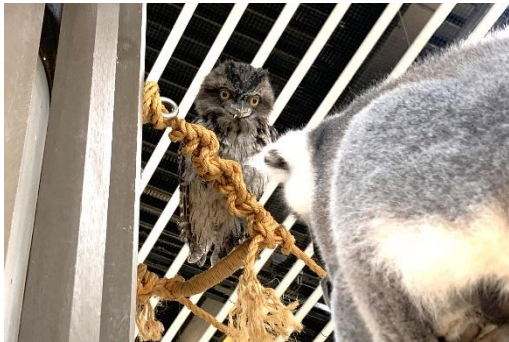
【「うごきにふれる」ゾーンで見られる様々な姿】



日中はぼったりと身体を丸めて眠っている姿がよく見られます。



「うごきにふれる」ゾーン手前の柱の上が 2 羽の定位置です。(左:おしるこ、右:あずき)



ワオキツネザル(右下)には鋭い視線を向けて威嚇します。



オウギバトが近づいた際には木の枝になりきって擬態していました。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)

【所 在 地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】 夏期の平日(8 月 23 日まで)・土日祝 9:30~19:00

8 月 10 日~16 日 9:00~20:00 8 月 26 日以降の平日 10:00~18:00

※いずれも最終入館は閉館の 1 時間前 ※状況により変更する場合があります

【休 館 日】 年中無休。 ※年に 1 回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる(合計 8 ゾーン)、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m²・112 席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分

【駐 車 場】 約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)